

感染症について

感染症にかかって、医師から出席停止の指示をうけた場合は、登園する際、「学校感染症に係る登園に関する意見書」が必要です。

1) 「学校感染症に係る登園に関する意見書」の提出が必要な感染症

病名	医師が登園可能と判断する目安	主な症状	潜伏期
麻疹 (はしか)	熱が下がった後、3日間を経過し、元気なとき	かぜ症状、高熱、全身に発疹	10~12 日
風疹 (3 日はしか)	発疹が消えてから	発熱、発疹、耳のうしろ、首、わきの下などの腫れ	10~21 日
水痘 (みずぼうそう)	すべての発疹がかさぶたになってから	水ほうのある発疹が、からだ中に次々とする	10~21 日
流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	耳下腺、顎下腺又は舌下腺の腫脹が発言した後 5 日を経過し、全身状態が良いとき	発熱、耳下腺が腫れて痛む(片方だけのこともある)	18~21 日
百日咳	特有の咳が消失するまで又は 5 日間の適正な抗菌性物質製剤による治療を終了するまで	かぜ症状からはじまり、次第にコンコンヒューヒューという咳が出る	7~10 日
咽頭結膜熱 (プール熱)	症状がなくなったあと、2 日を経過してから	発熱、のどの痛み、目の充血、めやに、鼻汁	3~7 日
結核	主治医の指示により、感染のおそれがないと認められた後	かぜ症状からはじまり、体重減少と疲労感が持続する	1~2 ヶ月
インフルエンザ	発症した後 5 日を経過し、かつ、解熱した後 3 日を経過するまで	急な高熱、頭痛、関節痛	1~3 日
腸管出血性大腸菌感染症	主治医の指示により、感染のおそれがないと認められた後	血便、腹痛、嘔気、嘔吐、発熱	3~10 日
流行性角結膜炎 (はやり目)	主治医の指示により、感染のおそれがないと認められた後	結膜の充血と腫れ、めやに	5~14 日
急性出血性結膜炎	主治医の指示により、感染のおそれがないと認められた後	結膜の充血と腫れ、めやに結膜下出血	2~3 日
A 群溶血性連鎖球菌咽頭炎(A 群溶連菌感染症)	有効な抗生剤治療開始後 24 時間を経て、全身状態がよいとき	発熱、のどの痛み、苺の表面のような舌になる	2~5 日
感染性胃腸炎 (ノロ、ロタ、アデノウイルスなど)	主治医の指示により、感染のおそれがないと認められた後	嘔吐、下痢、発熱	1~7 日
アデノウイルス咽頭炎 (アデノウイルス感染症)	症状がなくなったあと、2 日を経過してから	発熱、のどの痛み、目の充血、めやに、鼻汁	3~7 日
異型肺炎 (マイコプラズマ肺炎)	症状が改善し、全身状態の良くなってから	発熱、激しく頑固な咳	2~3 週間
ヘルパンギーナ	熱が治まって 2 日経過し、喉の痛み等がとれて症状が改善してから	発熱、のどに発疹・水疱・潰瘍ができる	2~7 日

2) 「学校感染症に係る登園に関する意見書」の提出は必要ないが、医師による受診・指示が必要な感染症

※下記疾患のような症状が出て疑いのある場合には、通院をお願いしております。

病名	主な症状	潜伏期
----	------	-----

手足口病	口の中、手のひら、足の裏、膝の裏、おしりなどに小さな発疹や水ぼうが出る	3～6 日
伝染性膿痂疹 (とびひ)	虫さされや小さな傷のあとから発症する。赤く腫れて水疱ができ、膿をもった水疱からびらんを生じる	4～14 日
伝染性紅斑 (リンゴ病)	かぜ症状に引き続き、鼻を中心として頬に蝶の模様に似た赤い発疹が出る。手足や体に網目模様の発疹が出る	
突発性発疹	3～4 日の高熱、熱が下がったと同時に発疹が出る	7～14 日

※上記 1), 2) 以外の疾患でも、医師による受診や指示を受けていただくよう園からお願いする場合があります。